

基本方向

第 2 期ビジョンにおいては、下記の 4 つの基本方向に沿って芸術文化振興方策を展開した。

基本方向	展開方向	評価	主な県新規事業 (H27~R2)	総合評価
1 芸術文化を創造・発信する	(1) 芸術文化を担い、育て、つなげる人材を育成する		・芸術家育成プロジェクトリサイクルシリーズの開催 (R1~) ・ひょうごアーティストサロン機能拡充事業 (R2~) ・国際観光芸術専門職大学 (仮称) の設立準備 (H30~)	人材育成や拠点機能の向上に向け、様々な施策が講じられてきた。発信力強化については、近年、取組が進みつつある。
	(2) 芸術文化の拠点機能を高める		・考古博物館加西分館、県立美術館第 2 展示棟、県立美術館西宮分館等の開設 ・原田の森ギャラリー・芸術文化センター・ピッコロシアター等の大規模改修工事の実施 ・市町ホール活用支援事業 (R2~)	
	(3) 芸術文化の発信力を強化する		・動画配信事業の実施 (R2~) ・ひょうごの文化発信リーディング事業 (R1~)	
2 芸術文化の“場”を育て拡げる	(1) 地域で多様な“場”を育て拡げる		・兵庫芸術文化センター管弦楽団による小規模アウトリーチ (H29~) ・障害者芸術「する・みる・ささえる」応援プロジェクト (R2~)	特に青少年・障害者対象の事業について新たな取組みがなされている。
	(2) 青少年が本物の芸術文化に親しむ		・子ども伝統文化わくわく体験教室 (H27~) ・県立美術系・博物館等の高校生入場料無料化 (H29~)	
	(3) 芸術文化を通じた世代間交流を促進する		・県域文化団体の活動支援事業 (伝統文化継承事業) (H29~)	
	(4) 芸術文化施設を活用し、適切に維持・保全する		・原田の森ギャラリー・芸術文化センター・ピッコロシアター等の大規模改修工事の実施	
3 文化力を高め、地域づくりに活かす	(1) 生活文化を高める		・伝統文化の学びの充実事業 (H28~) ・伝統文化学び塾事業 (R2~)	他の基本方向に比べると取組がやや弱く、更に強化する必要がある。
	(2) 伝統文化、地域文化資源を活用して、地域の文化力を高める		・ふるさと兵庫の地域学の開催 (H28~) ・文化財保存大綱の策定 (R1)	
	(3) まちづくりを進める		・県民局・県民センターによる地域活性化事業等	
	(4) 産業づくりを進める		・日本遺産を結ぶ兵庫陶芸美術館・篠山方面直通バス事業 (H28~)	
4 みんなで支え、総合的に取り組む	(1) 県民自らが芸術文化を支え育てる		・ひょうごふるさと寄附金 (ふるさと納税) の芸術文化関係事業への充当 (H28~)	県市協調など新たな取組が進められている。
	(2) 県民、団体、企業、行政等の各主体の連携体制を整備する		・芸術文化公演再開緊急支援事業 (R2)	

重点取組項目

第 2 期ビジョンにおいて「今後 6 年間で重点的に取り組むべき項目」として、下記の 4 項目が設定された。

重点項目	想定された取組	評価	主な県新規事業 (H27~R2)	総合評価
【重点 1】 県民誰もが身近に芸術文化に親しむ環境の整備	芸術家等が地域へ出向くアウトリーチ活動の推進 若手芸術家の発掘・育成 県民の芸術文化活動への支援あらゆる場の活用の促進 青少年が本物の芸術文化に親しむ機会の充実 学校教育との連携の推進 親への啓発や親子交流の促進 芸術家を支え育てる目を持つ観客の育成		・兵庫芸術文化センター管弦楽団による小規模アウトリーチ (H29~) ・ひょうごアーティストサロン機能拡充事業 (R2~) ・子ども伝統文化体験教室 (H27~) ・ピッコロ劇団による市町ホール公演の実施 (H28~) ・大学と美術館との連携協定	第 1 期からの先進的な取組を更に進化させており、量・質ともに充実が図られている。
【重点 2】 「ふるさと意識」に根ざした兵庫の文化の継承・発展	伝統文化や伝統芸能等の継承・発展 芸術文化を通じた世代間交流の仕掛けづくり 学校や家庭、地域での芸術文化教育の充実 地域文化の発掘・保存・活用 文化財等地域の文化資源の活用支援 地域の文化力等を活用したまちづくりの推進		・伝統文化学び塾の実施 (R2~) ・県域文化団体の活動支援事業 (伝統文化継承事業) (H29~) ・伝統文化学びの充実事業 (H28~) ・ふるさと兵庫の地域学の開催 (H28~) ・文化財保存活用大綱の策定 (R1) ・県民局・県民センターによる地域活性化事業等	伝統文化に親しむ機会は増えたが、文化財等、地域の文化資源活用を更に推進する必要がある
【重点 3】 兵庫の分厚い文化力の国内外への積極的な情報発信	ICT 等を活用した多彩な芸術文化情報の発信等 芸術文化施設のネットワークの拡充による集客強化等、観光分野と連携した情報発信の展開 東京オリンピック等の機会を捉え、本県の文化力を活かした国際的な芸術文化事業を展開 国、関西広域連合、市町、団体、企業等との連携体制の確立		・ひょうごアーティスト動画配信事業等 (R2~) ・観光 WEB サイト充実強化事業 (R1~) ・日本遺産を結ぶ兵庫陶芸美術館・篠山方面直通バス事業 (H28~) ・ひょうごの文化発信リーディング事業 (R1~) ・芸術文化公演再開緊急支援事業 (R2)	新型コロナ対策の「新しい生活様式」も踏まえつつ、より一層の情報発信への取組が必要
【重点 4】 芸術文化施設の適切な維持・保全と活性化の推進	適切なメンテナンスによる安全・安心で快適な施設づくり 県内外の施設とのネットワークの拡充による利活用の促進 施設の効率的な運用と活性化の推進 施設運営への住民参画の促進		・ひょうご庁舎・公的施設等管理プランの推進 (H28~) ・市町ホール活用支援事業 (R2~) ・ひょうごふるさと寄附金 (ふるさと納税) の充当 (H28~) ・西宮北口周辺地域、県立美術館王子分館における取組等	県施設の大規模改修等が進んでいる。今後は更なる連携強化が必要

検証の結果

- ・「3 文化力を高め、地域づくりに活かす」という基本方向がやや弱い。  
「3(3)まちづくりを進める」「3(4)産業づくりを進める」施策を講じる必要がある。
- ・「1(3)発信力の強化」「2(3)世代間交流の促進」「4(2)連携体制の整備」等の施策も進める必要がある。

検証の結果

- ・概ね順調に取り組んできたが、「【重点 2】「ふるさと意識」に根ざした兵庫の文化の継承・発展」「【重点 3】兵庫の分厚い文化力の国内外への積極的な情報発信」がやや弱い。
- ・「重点 3 観光分野と連携した情報発信」「重点 4 住民参画の促進」等に取り組む必要がある。

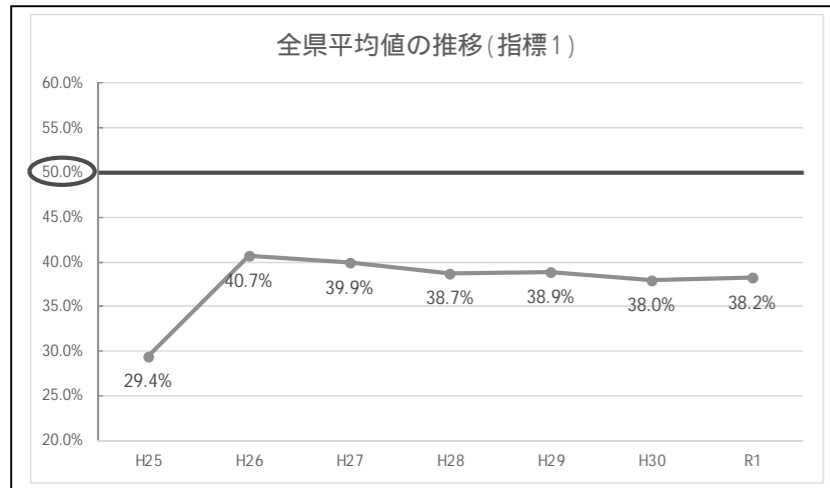
# 第 2 期 ビジ ョ ン の 検 証 (2/2)

## 成果指標

第 2 期ビジョンにおいては、今後の事業展開による取組の成果を検証するため、「21 世紀兵庫長期ビジョン」における「ひょうごのゆたかさ指標」県民意識調査の中から**成果指標の設定**を行った。

### 指標 1 「住んでいる市・町で、芸術文化に接する機会があると思う人の割合」

平成 32 年（2020 年）までに 10%引き上げ、**50%**にする。



[資料] 兵庫県「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査

### 評価：（達成は困難な状況）

- ・全体としては 38～40%で推移。
- ・阪神南・北は安定して高く、東播磨は安定して低い。
- ・一方、但馬も他の多自然地域に比べ平均的に高く、一概に施設の多寡によるとも言えない。

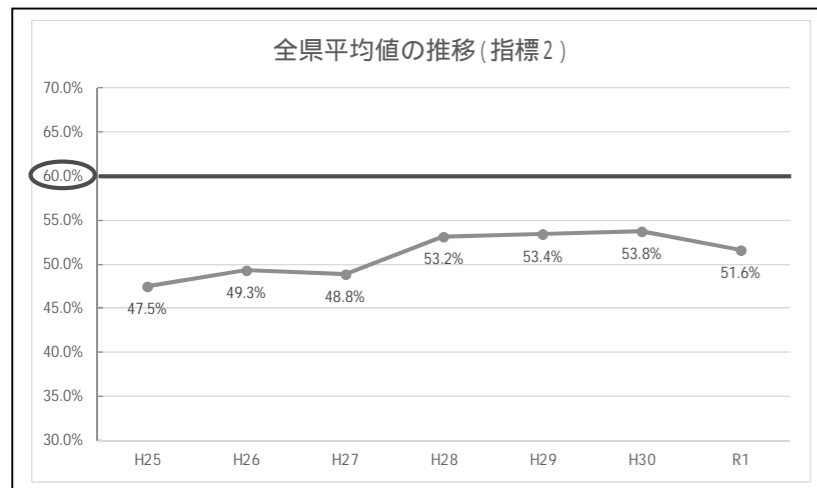
[H27～R1の5か年平均(単純平均)]

神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨
37.3%	43.4%	48.8%	27.7%	36.5%
中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路
37.5%	37.5%	40.8%	39.0%	34.4%

### 指標 2 「住んでいる地域で、自慢したい地域の「宝」(風景や産物、文化等)があると思う人の割合( )」

平成 32 年（2020 年）までに 10%引き上げ、**60%**にする。

～H27 は「住んでいる地域」、H28～は「住んでいる市・町」



[資料] 兵庫県「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査

### 評価：（達成は困難な状況）

- ・全体としては増加傾向にある。
- ・中播磨は安定して高く、姫路城が影響している可能性がある。
- ・一方、観光資源に恵まれていても割合が低い地域もあり、一概に傾向を評価するのは困難である。

[H27～R1の5か年平均(単純平均)]

神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨
50.4%	48.1%	56.5%	48.4%	42.2%
中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路
68.4%	48.3%	61.2%	52.7%	50.9%

## 検証の結果

- ・いずれも達成は困難な状況。
- ・数値向上を達成するには、全体的な底上げと同時に、地域間格差の是正が不可欠。芸術文化の鑑賞機会の地域偏在解消や地域意識(シビックプライド)の育成に取り組む必要がある。

## 課題と今後の展開方向

これらの検証結果及び第 2 期ビジョン以降の国の芸術文化施策動向、時代潮流等から浮かび上がった課題を抽出し、これらを解消するために第 3 期ビジョンで重点的に取り組むべき展開方向を検討する。

- ：検証で浮かび上がった課題
- ：国の施策動向や時代潮流等から浮かび上がった課題

### 発信力の更なる強化

- ・県内外・国内外への更なる発信力の強化

### 地域偏在の解消

- ・芸術文化にふれる機会が少ないと感じる県民を減らす取組

### ポストコロナ社会への対応

- ・オンライン芸術鑑賞や芸術文化拠点の分散等への取組

### [方向性]

#### 新たなICT(情報通信技術)の活用

地域偏在の解消、新たな創造・発信手法の展開、最先端技術を活用した収益力強化等

### 社会的包摂の実現

- ・すべての人が芸術文化に親しみ、発信できる共生社会を実現

### 世代間交流の推進

- ・様々な世代がともに楽しみ交流できる芸術文化の機会を創出する

### [方向性]

#### 社会的包摂(ソーシャルインクルージョン)の推進

あらゆる人が芸術文化を享受できる環境づくり、担い手としての障害者支援等

### まちづくり・産業づくりへの活用

- ・文化資源や芸術文化を地域の活性化に生かす

### 地域意識(シビックプライド)の育成

- ・地域の優れた芸術文化遺産を発掘・発信し、地域意識を高める

### 芸術文化の多様な価値の活用

- ・芸術文化の持つ社会的・経済的価値を発揮して地域の元気を作り出す

### [方向性]

#### 観光や産業との連携

地域資源を活用した地域の元気づくり、地域の文化力を活用したまちづくりの推進等

### 連携体制の整備

- ・県・市町、芸術文化団体、文化施設、民間等が連携して取り組む

### [方向性]

#### 芸術文化を支えるプラットフォームの整備

県・市町、芸術文化団体、文化施設、民間等の相互連携体制の整備、マネジメント人材の育成等